

# 国際規格の動向－国際会議に出席して－

## ISO/TC61/SC4/WG8(着火、燃焼の広がり及び燃焼発熱) イギリス・ロンドン国際会議

\* 片野邦夫

開催日: 2018年3月19日～20日

場所: 英国規格協会(BSI)

参加国: ベルギー、フランス、イギリス、日本、4ヶ国15名  
当社に關係する審議について報告する。

### (1) ISO 4589-4(高流速下の酸素指数燃焼性試験)

NP投票の結果は賛成13か国、反対国無し、Expert登録7か国で承認され、コメント(すべてeditorial)の処理後、日本より、試験片周りの流速を均一にするため、試験片ホルダは燃焼円筒上部の開口部から吊るし、支持ロッドを削除することを検討中である旨報告がなされた。また、Part 2に規定されている外気流入防止のための燃焼円筒上部の絞りが不要であること、試験片の着火源は、Part 2規定のバーナを用いるべきであること等が確認された。今後の作業としては、試験片ホルダの変更等を加えたWDをWG8メンバ及びExpert登録者に送り、2018年9月の会議でCDとしての登録を協議することとなった。



酸素指数燃焼性試験装置

次回は、2018年9月27日、大宮で開催予定。

## ISO/TC35/SC9(ペイント及びワニス/一般試験方法) チェコ・ブルノ国際会議

須賀茂雄

開催日: 2018年5月15日

場所: Hotel International Brno

参加国: ドイツ、アメリカ、スイス、オランダ、中国、日本  
6ヶ国18名

当社から須賀、喜多の2名が参加した。

当社に關係するWG31(硬化後の性能試験)の審議について報告する。

(1) ISO 2813:2014(塗料及びワニス - 20°, 60°及び85°における光沢度の測定)はPL: Nico氏が2か月以内にWDを作成する(CIEとリエゾンする)。

(2) ISO/CD 22969(塗料及びワニス - 日射反射率の求め方)は審議の結果に基づき修正した文書をDISへ進めることになった。coatingsをcoating systemに置き換え、solar reflectanceの定義にTSR(total solar reflectance)、SRI(solar reflectance index)を追加する。



会議風景

次回は、2019年5月中国・上海で開催予定。

< ISO 規格発行までの手順 >		
予備段階	PWI	Preliminary Work Item (Project)
提案段階	NP	New Proposal for a work item
作成段階	WD	Working Draft
委員会段階	CD	Committee Draft
照会段階	DIS	Draft International Standard
承認段階	FDIS	Final Draft International Standard
発行段階	IS	International Standard

PL: プロジェクトリーダー

\*開発部 プロジェクト T 課長代理